

看護ケア推進たより 8号



独立行政法人 地域医療機能推進機構 大阪病院
Japan Community Health care Organization Osaka Hospital

2015年11月

続報

『訪問します!!健康講座』



本年度より地域住民や医療・介護従事者のご依頼を受け、専門の看護師が健康講座を実施しています。先月号に続き、活動を御紹介いたします。

第3回『訪問します!!健康講座』報告（開催：2015年7月3日）

テーマは「結核は現代の病気です!」です。福島区女性会からお招き、玉川コミュニティーセンターで開催されました。

結核について正しい知識を持っていただき、定期健診の推奨や症状があった場合の早期受診を啓発することを目的にしました。結核とはどのような病気か、症状や診断のための検査、結核を減らすための大阪市の取り組みなどについてお話をさせていただきました。大阪市は結核罹患率が全国でもワースト1に入ります。参加された皆様は本当に熱心に聞いていただき、結核の怖さや早期受診の必要性についてご理解いただけたのではないかと思います。

（感染管理認定看護師 柴谷涼子）



第4回『訪問します!!健康講座』報告（開催：2015年9月29日）

福島区保健福祉センターの取り組みのひとつ、介護予防地域健康講座『ハッピー☆あし活セミナー第2回目』にお招き頂き、福島区保健師の皆様とともにフットケア勉強会を開催させて頂きました。内容は、『足を観察してみよう』『スキンケア』『簡単足運動』等、誰もが簡単にできる足の手入れについてレクチャーを行いました。会場内は元気ある福島区民30名のパワーと笑顔でいっぱいになりました。区民の皆様からは「次回も参加したい」との声も多く、健康意識の高さに驚きました。今後も地域の病院・施設のニーズに応じた勉強会の企画に参加させて頂きたいと思っております。

（皮膚排泄ケア認定看護師 中西由香）



今号より連載にて、各部署の委員会リンクナースの取り組みと活躍を紹介します。今月は栄養管理実行委員会です。

「栄養管理実行委員会リンクナースとしての活動について」

10階西病棟看護師 山中梨湖



患者の栄養についてカンファレンス(筆者 左2番目)

今年で栄養管理実行委員として2年目を迎えました。昨年度は初めての委員会活動に緊張し、右も左も分からぬ状態でした。委員会ではマニュアルの見直し、症例検討など患者の全体像を捉え、看護について意見交換を行いながら学ぶことができます。学んだ内容を病棟スタッフへフィードバックしていく役割もまた重要であると知りました。

以前、「食べることは生きること」という言葉を聞いたことがあります。10階西は消化器外科の患者が入院されており、治療のため絶食を余儀なくされます。また、日々患者との関わりの中で「少し痩せている。」「食欲がない。」と客観的に感じ取り、変化に気付けるのは看護師です。変化に気付いた時、どのような介入が必要となるのかチーム内でカンファレンスし、NSTに介入を依頼しています。NST回診時には、リンクナース以外のスタッフも参加できるように調整を行っています。食事摂取量がアップし、栄養状態が改善すれば、患者の生きる意欲や治療に対して前向きに捉えることができるのではないかと感じています。また、継続して患者を支援することが重要であると感じています。自分自身まだまだ不足な部分が多いので、栄養管理実行委員リンクナースを通して栄養に関する知識や看護実践について考え、日々スタッフと共有しながら、邁進していきたいです。

栄養管理実行委員会の紹介

栄養管理実行委員会は各病棟や外来から 17 名の看護師がリンクナースとして参加しています。栄養は人間の成長や活動に欠かせないものであり QOL の向上に大きく関わります。

今年度は各病棟において栄養管理を必要とされる患者の特徴や栄養管理における課題を見いだせることを目標に活動しています。委員会では、症例検討を通し、身近にある栄養に関する問題や介入が上手くいった症例などをリンクナース間で

共有し、看護ケアを考え、現場にフィードバックしていけるよう頑張っています。まずは患者の全体像をとらえながら栄養面に目を向け、個々に合わせたケアが行えるよう、私自身も日々実践し、感じた事をリンクナースと共に考え、栄養管理に携わっていけるように努力していきます。
(栄養管理実行委員会委員長 SCU 田野岡看護師)



講演・イベントのお知らせ

各詳細はホームページを御参照ください。

世界糖尿病デー in JCHO 大阪病院 2015



11月9日(月) 13:00~15:30 場所：2階外来待合

内容：糖尿病内科医による相談コーナー、食事・薬・フットケアなどの相談、血糖測定体験、資料やパンフレット展示 等

11月9日(月)~11月13日(金)期間限定！！

当院4階自然派レストラン「のだふじ」にて1食約500kcal「メタボ予防ランチ」を販売いたします。(1日20食限定)

第1回フットケア・スキンケア検討会

12月12日(土) 13:30~17:00 場所：JCHO 大阪病院 6階講堂

内容：Ⅰ.事例検討：難渋した症例についてディスカッション

- Ⅱ. 講演：1.高齢者スキンケア対策(皮膚科医師)
2.循環器疾患とフットケア(循環器内科医師)
3.歩くための体作り(理学療法士)

★様々な診療科、職種、職場の壁を越えてディスカッションできる検討会です。



申し込み締め切り 12月7日 問い合わせ先：JCHO 大阪病院 看護ケア推進室 中西由香

新メンバーの紹介

松山佳子(救急看護認定看護師)

突然の事故や疾患によって苦痛が生じた患者・家族の手助けをしたいと思い、救急看護認定看護師の資格を取得しました。救急外来は他職種との協働、他部門との連携がとても大切です。患者とその家族が安心して診療が受けられるよう援助するとともに、他部門との連携が図れるよう、精一杯努力していきたいと思います。



藤澤愛理(新生児集中ケア認定看護師)

NICUで7年間働き、新生児に対する自分の看護がこれで良いのかと疑問を抱き、より良い看護がしたいと思い、2015年7月に新生児集中ケア認定看護師の資格を取得いたしました。

ハイリスク新生児とその家族に対する支援や障害なき生存を目指して、優しい看護を提供しあたたかいNICUを作っていきたいと思っています。



高尾鮎美(がん看護専門看護師候補生)

2015年度、がん看護専門看護師の資格取得を目指しています。がんは、特有の身体症状を引き起こし、患者さんの心理・社会的側面にも大きな影響を与える疾患です。治療選択やそれによる有害事象も複雑であり、医学的背景を踏まえた上で、一人一人のがん患者さんの看護ケアに貢献できるよう努めます。今後、肺がん看護とがん放射線療法を専門領域にしたいと考えています。



編集後記

今回から「きらり☆リンクナース」という連載を開始し、病棟・外来看護師の活動も紹介しています。看護師の病院内での活躍をお伝えできたらと思います。また「訪問します！！健康講座」といった地域の皆様との活動も、引き続き掲載していきます。JCHO大阪病院の看護師の活動を知って頂き、皆様に活用して頂ければと思います。

看護ケア推進会議メンバーも増え、より専門性の高い看護と個々に応じた看護の提供に邁進していききたいと思います。

(ICU 中村)